



10日に開通を迎える新山下駅

新築、開校後は地域の避難所としての役割も担うため、高層ビルで使用された宮城・岩手両県内を通るJR気仙沼線とJR大船渡線では、BRTによる復旧を実施。鉄建は、BRTの立ち上げ時からJR東日本と共にプロジェクトを推進し、専用駅や専用道路の施工に携わってきた。今では運行本数も増え、鉄道同様に市民の足として活用されている。

被災地() 大きな被災地の発展に寄与して欲しい」と話す。 視察を終えた林社長は「震災後、全国から人を集めて復興工事に当たってきた。現場は苦勞も多かったが、被災された方はもっと大変な思いをしており、早急にインフラを整備しなければという思いで必死にやってきました。今後も信頼にこたえられるよう全力を尽くしていく」と決意を述べた。

アジア航測らコンソーシアム

スマート林業確立へ

長野で研究開発プロ始動

航空機やドローン(小型無人機)、バックパックに搭載したレーザーセンシング(LiDAR)機器を駆使し、森林の生育状況の把握や伐採計画の立案作業、木材生産の省力化を図る「スマート精密林業」の確立に向けた研究開発プロジェクトが長野県で始まった。研究母体は産学で組織するコンソーシアム。18年度をめどに開発を目指す。

ドローンやLiDAR駆使

信州大学、北信州森林組合、アジア航測の3者が、同コンソーシアムは「LiDARによるスマート精密林業コンソーシアム」を作り、コマツが協力。農林水産省と農業・食品産業技術総合研究機構の「革新的技術開発・緊急展開事業(地域戦略プロジェクト)」の一環として研究開発を進める。

木材の利用促進に向けては、どこで何をどのくらい伐採すればよいか、判断材料となる正確な森林資源情報が必要とされる。現地調査もコストが大きい割には得られる情報の精度が低く、適切な事業計画を立案できないと指摘する地方自治体が多い。



この課題の解決に向けて、同コンソーシアムは最新のLiDAR技術を活用し、森林管理・供給を最適化・省力化、コストの大幅削減、生産量向上による木材生産の安定供給を図る仕組みの構築を目指す。信州大学の

主催で8日に長野県松本市でプロジェクトの取り組みを説明するキックオフシンポジウムを開いた。写真。スマート精密林業は、航空機に搭載したLiDAR機器で高精度の森林資源情報を収集し、生育状況などを把握。よりエリアを絞り込んだ上で、LiDAR機器を搭載したドローンで木の種類や高さ、体積を計測・解析し、伐採の量や範囲などを決定。収穫後はLiDAR機器を搭載したバックパックを背負った作業員が地上調査を行い、伐

施設管理にドローン空撮 静岡の競技場で 東急コミュニケーション 静岡の競技場で ドローン(小型無人機)を使った測量サービスを手掛けるテラドローン(東京都渋谷区、徳重徹社長)は8日、東急コミュニケーション(東京都世田谷区、雑賀克英社長)と共同で、静岡県袋井市のエコスタジアムの管理業務に、ドローンを活用した空撮システムを導入したと発表した。省人化

や作業時間の短縮などが目的。点検業務は、テラドローンの運行管理システムを導入し、自動でドローンが航行するように設定。内蔵したカメラを使い、遠隔操作で点検を行う。 これまで、スタジアムの屋根部分の点検は作業員が目視で行っていたが、時間

がかり、屋根に登る必要があるため危険を伴う作業だった。ドローンを導入することで、広範囲で詳細な

ドローンを導入することで、点検業務の効率化が図れる。点検を短時間で済ませようになり、作業の効率化が図れる。

東急コミュニケーションは、同スタジアムの指定管理者である静岡県サッカー協会グループの構成企業で、11年から同スタジアムの管理業務を担当している。 中学校の2年生5人が訪れ、「昔の技術と今の技術を取り入れた建築物の工夫」をテーマに建築を中心とした施工技術などを学んだ。 企業訪問は、同校が修学旅行を利用した総合学習の一環として企画。同社はこうした企業訪問を毎年受け入れていく。

この日は、同社技術研究所の赤尾伸一副所長が建設

探した体積と解析データを比較・検証する。

エコプロ2016での展示ブース

ウッドデザイン賞で優秀賞

木質部材による耐震補強技術

木質部材による耐震補強技術

木質部材による耐震補強技術

木質部材による耐震補強技術

木質部材による耐震補強技術



竹中工務店が実用化した木質部材による耐震補強技術「TiForest series」が、ウッドデザイン賞2016(ウッドデザイン賞運営事務局主催)で優秀賞(林野庁長官賞)を受賞した。大規模建築物の耐震補強を木で行う構法で、国土強靱(きょうじん)化と木材利用を両

立させる取り組みとして高く評価された。 TiForestシリーズ コンクリート・プレースの20

は、集材材を使用した耐震プレースの「TiForest Light」と木質パネルなどでも確保できる。 TiForest Wall シリーズと耐火集成材「燃

10日まで東京都江東区の東京国際展示場で開かれている「エコプロ2016」にプレースを設け、TiForest シリーズと耐火集成材「燃

業の仕事や自社の企業概要などを紹介したほか、自然エネルギーを活用した最新技術、免震や制震など地震に備えた建物づくりなどを具体的な事例を交えながら紹介した。

生徒たちは「免震ゴムの使用可能年数はどれくらいなのか」「50階建てマンションは、契約から完成までどれくらいかかるのか」「海外の仕事では、日本から材料を持っていくのか」など興味津々の様子で職員に質問していた。

航空機で得られた計測データ、ドローンによる計測データは急傾斜地を避けた伐採用の林道整備計画や適切な事業計画の立案などにも生かされる。最終的には計測データを活用し、コマツのグループ会社が保有する機械で自動で伐採する計画だ。

長野県で始動する研究では、LiDARによる計測・情報収集技術のうち、航空機による高精度の森林資源情報

重点化事業の進め方紹介 A C Kグループは6日、東京都渋谷区の本社でグループ定例会を開いた。全国20カ所以上の拠点から集まったグループ各社の役員を前に、進行中の重点化プロジェクト7件の進捗状況を、今後の展開などを各担当者が発表した。テレビ会議やインターネットライ

全国20カ所以上からグループ各社の役員が参集

給湯器に高齢者の入浴事故防止機能 ノーリツ、17年春発売 ノーリツは、ヒートショックなど高齢者に多い入浴時の事故の防止機能を搭載した高効率ガス風呂給湯器を17年3月1日に発売する。紫外線(UV)除菌機能も備え、一定時間経過後、自動で浴槽内の湯をUV運転できれいにする。 新機能を搭載するのはエコシリーズ「GTIC2462シリーズ」。高温入浴

による急激な温度低下を防ぐため、設定温度でセンサーが感知すると、設定温度より低い温度で追い炊きする。ほせ対策リモコンが5分ごとの台所の浴時間を短縮できる。 99.9% 現したUV搭載。入浴V運転する濯で洗える。本体はタリクカ グレードを搭載した3タイプあり2800円。初年度 国井総一 事業の強化 組んでおり新しい機能を パルナなどをとんと

アカギの配管支持 株式会社 アカギ 03-3552-7331 (大代) 本社東京・支店全国主要都

給湯器に高齢者の入浴事故防止機能 ノーリツ、17年春発売

給湯器に高齢者の入浴事故防止機能 ノーリツ、17年春発売

給湯器に高齢者の入浴事故防止機能 ノーリツ、17年春発売